

(仮称)西郡認定こども園

桂町2丁目

「(仮称)西郡認定こども園」は、現在の西郡保育所の園舎を活用します。吹抜けの玄関や広い遊戯室、エントランスがあり、緑豊かな環境のなかで様々な活動を行っていきます。



西郡保育所 諸室の配置

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1階部分 | 2階部分 |
| 1、2、3歳児保育室・遊戯室
調理室・保健室など
1階屋外にプール | 0、4、5歳児保育室
地域子育て支援センターなど |



こんなことをしています①

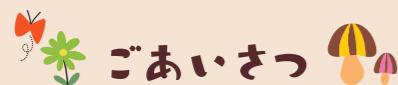
「生活科」などの授業の一環として、小学校の児童が保育所を訪問したり、園児が小学校の行事に招かれて一緒に遊ぶなど、交流が盛んに行われています。

こんなことをしています②

園児が園庭で育てた野菜が給食の食材になることもあり、そんなときは、皮むきなどのお手伝いに、はりきってチャレンジしています。クッキング保育や、5歳児による給食の味見当番など、食育活動を大切にしています。

こんなことをしています③

在宅の子育て親子が、交流しながら手遊びやふれあい遊びをしたり、みんなと一緒にお話や歌を楽しんだりできる取り組みをしています。子育てに関する情報提供や相談も行っています。これからママになる方も大歓迎!みんなの子育てを応援しています。



八尾市では、すべての子どもの健やかな成長を願い、これまで公立と私立が連携・協力して就学前教育・保育の充実に向けた取り組みを進めてきました。そして現在、幼稚園と保育所の機能をあわせ持ち子育て支援も行える認定こども園の整備を進めており、平成31年度には、公立と私立を合わせて36園の認定こども園が開園する予定です。

公立においても、幼稚園19園と保育所7園を再編し5園の認定こども園を整備する計画を進めており、それぞれの施設の場所や概要について、お知らせいたします。

(仮称)安中認定こども園

安中町8丁目

「(仮称)安中認定こども園」は、中廊下に屋上へ吹抜ける光庭を2つ設けることで中廊下形式でありながら、自然の光を感じられる開放性の高いつくりとしています。



- 平成28年度～29年度：工事予定
- 平成30年度：新園舎にて保育所運営開始予定
既存園舎解体工事予定
- 平成31年度：認定こども園として開園予定



外観



子どもの未来につながる力を
乳幼児期から育みます。

平成31年4月
開園予定

八尾市立 認定こども園

のおしらせ



八尾市立認定こども園が めざすもの

たくましく生きる力を育てます。

毎日の生活や遊び、様々な活動を充実させて、乳幼児期に身につけてほしい、意欲・忍耐力・思いやり・自信・協調性・感情や行動をコントロールする力などといった非認知的能力を育てることにより、「たくましく生きる力」を育てます。

小学校教育との接続を充実します。

「学ぶ」ことに興味・関心や期待が高まり、「学びに向かう力」が育つよう、たくさんの方の友だちとの関わりや様々な経験を豊かにします。また、その取り組み内容を広く発信します。

子育て支援を広げます。

地域での子育て家庭の交流が深まるように園庭や遊戯室を活用し、一緒に活動をしたり、情報交換をしたりするなど、楽しく子育てができる環境づくりをします。

- 認定こども園に関するご質問やご相談は、お気軽にお問い合わせください ●



八尾市 ども未来部
幼保一体化施設整備プロジェクトチーム
TEL072-924-0613 / FAX072-924-9548



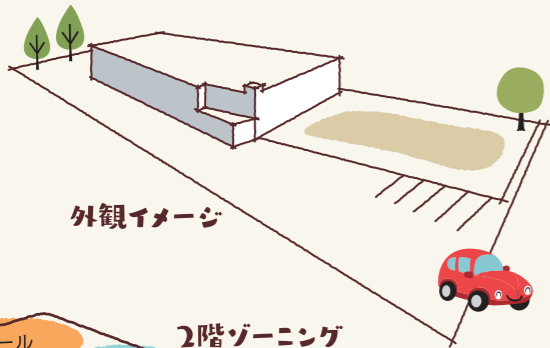
(仮称)志紀認定こども園

志紀町西2丁目

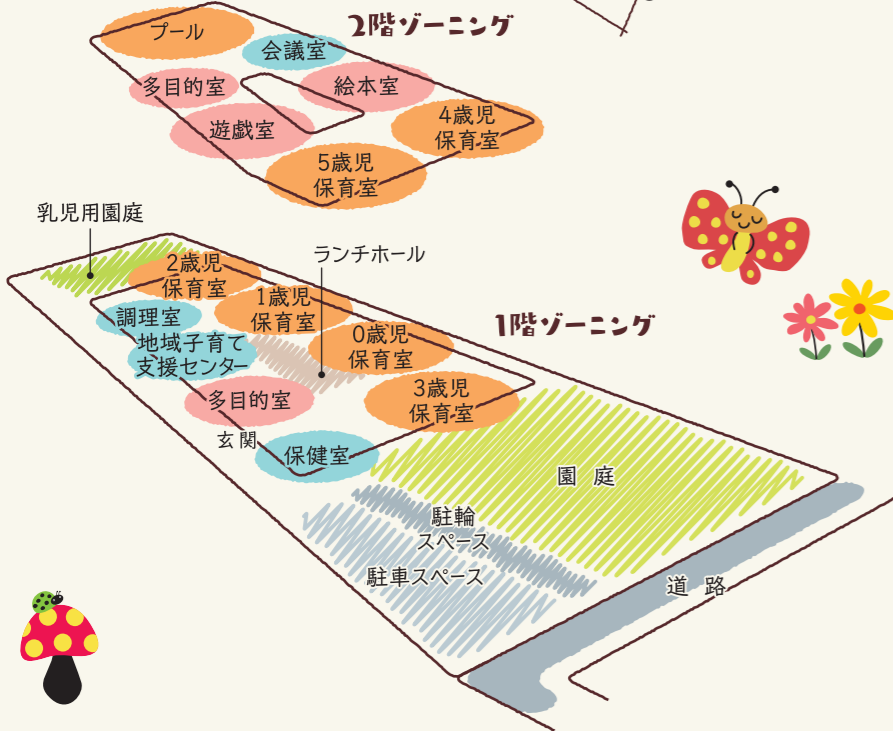
「(仮称)志紀認定こども園」は園舎の中央に2層吹抜けのランチホールを配し、吹抜けの上部には室内から空を感じられる高窓を設けています。広がりを感じる園舎とすることで、園児の伸びやかな成長を促すつくりとしています。



平成28年度：設計
平成29年度～30年度：工事予定
平成31年度：開園予定



外観イメージ



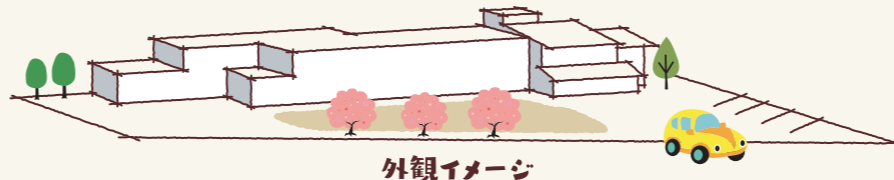
(仮称)南山本認定こども園

山本町南3丁目

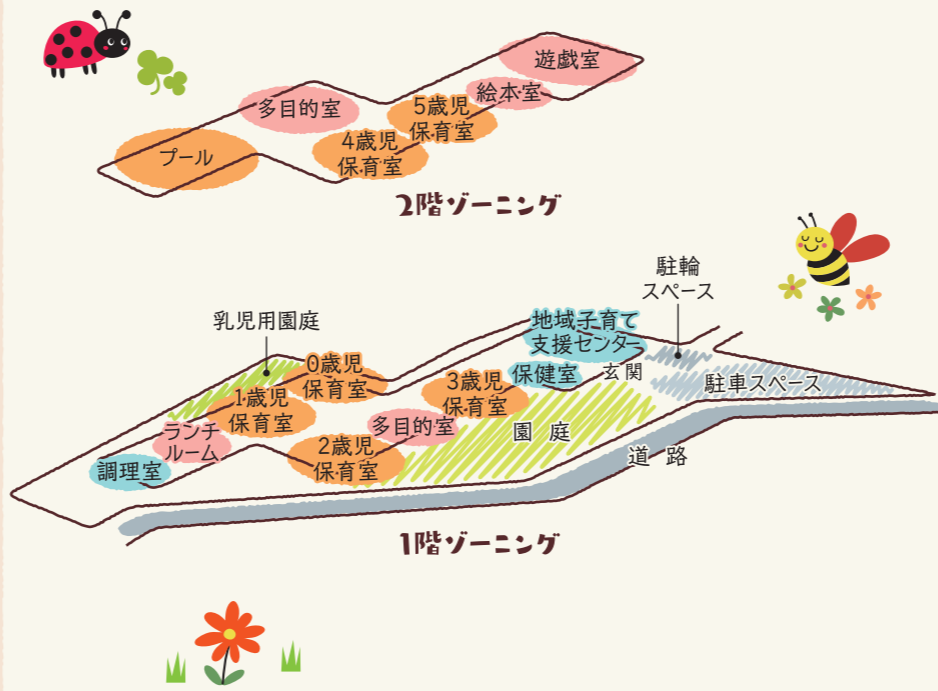
「(仮称)南山本認定こども園」は広く東面道路に面した敷地形状と園舎配置を活かし、川をイメージした手すりを2階バルコニーに計画しています。また、園舎中央部のオープンスペースには大階段と吹抜けを設け、中廊下でありながら明るく開放感のある空間構成としています。



平成28年度：設計
平成29年度～30年度：工事予定
平成31年度：開園予定



外観イメージ



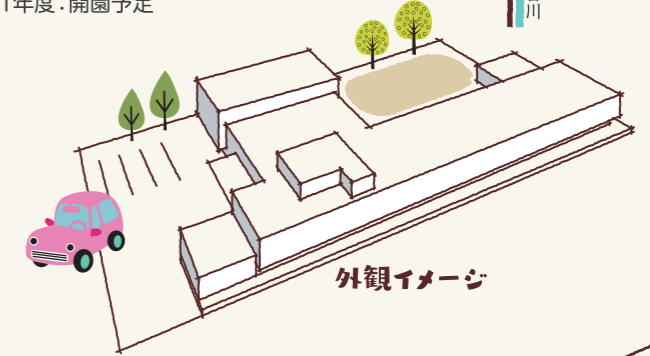
(仮称)東山本認定こども園

東町3丁目

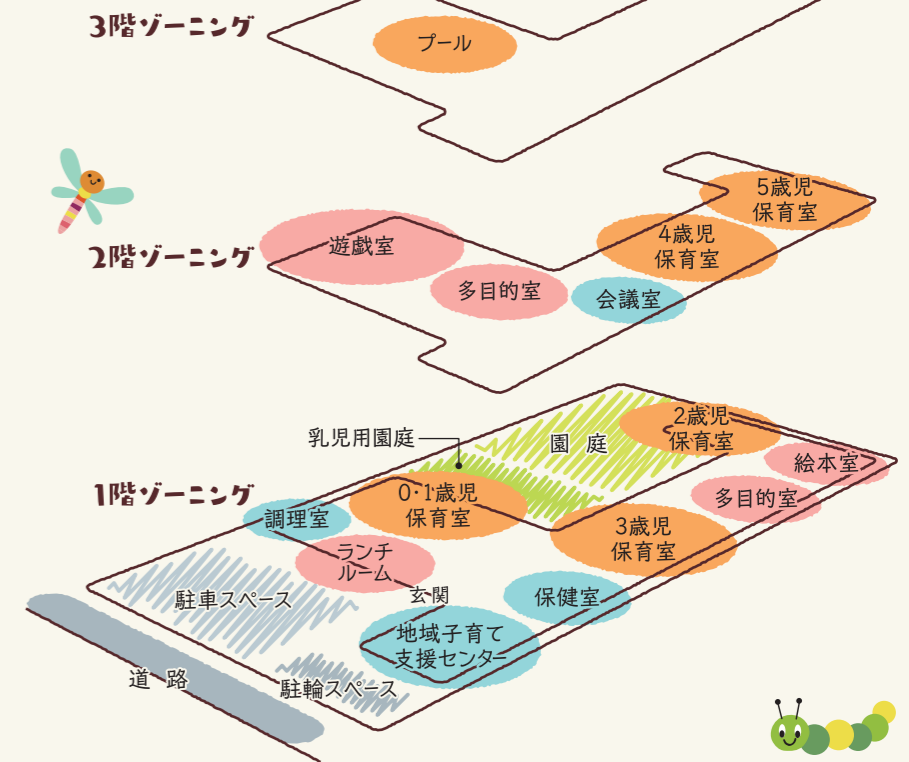
「(仮称)東山本認定こども園」の園庭には築山をつくり、園児が山を登ったり、滑ったり、上から見渡したりと様々な経験ができる冒険的遊び空間を提供します。



平成28年度：設計
平成29年度～30年度：工事予定
平成31年度：開園予定



外観イメージ



※(仮称)志紀、(仮称)南山本、(仮称)東山本認定こども園の外観イメージ及びゾーニングについては、平成28年10月時点の内容となります。

主な諸室の機能と役割 (新設園舎)

年齢や集団などに応じて生活や活動しやすい保育室です。

- ①活動しやすい保育室(幼児) 教育・保育内容により多様な活動ができるよう、隣接する保育室間は、できる限り可動間仕切りとします。また、保育室での生活において、空間を柔軟に確保できるように、保育室の棚やロッカーは可動式を導入します。
- ②生活しやすい保育室(乳児) 乳児用保育室には、床暖房を整備します。また、年齢や個人差による子どもの発達に応じた保育を行うため、日々の生活に配慮した配置とします。

食育の充実につながる工夫があります。

- ③ランチルーム 保育室とは違った環境で食事をしたり、クッキング保育などの活動が行える部屋を設置します。
- ④菜園 菜園で育てた野菜をクッキング保育に取り入れるなど、食育を充実します。

活動的な遊びやじっくり遊びこめる環境があります。

- ⑥園庭 乳児用と幼児用の園庭を確保することで、安全な遊びや年齢に応じた活動が充実します。また、災害時の避難動線を簡略化し、安全な避難誘導を行います。
- ⑦遊戯室 遊戯室は天井高を他室よりも高く設定し、広く開放的な空間とします。また、プロジェクターなど設備の充実を図り、多様な行事・活動に対応できる部屋とします。

⑤調理室と多目的室(ランチルーム)

調理室に隣接して多目的室(ランチルーム)を設けることで、食事だけでなく、食材の下ごしらえのお手伝いや、調理の様子を見学するなど、様々な体験を通して充実した食育活動を行います。

保護者同士や地域の方との交流が深まる場が増えます。

- ⑧会議室と多目的室 目的に応じて使用できるように設け、多様な教育・保育活動を行います。また、保護者・地域の方との交流や、サークル活動、ボランティア活動など多目的な使用が可能となります。
- ⑨子育て支援 地域子育て支援センターなどを設置し、入園していない子どもと保護者が憩えるスペースとして開放するとともに、各種イベントなど、多様な子育て支援活動を行います。